

『消費者志向経営優良事例 消費者庁長官表彰（特別枠）』受賞のお知らせ



不二製油グループは、消費者庁が主催する消費者志向経営優良事例表彰において令和2年度の消費者庁長官表彰（特別枠）を受賞致しました。不二製油グループは本業を通じ、消費者庁が掲げる、『消費者と「共創・協働」して「社会価値」を向上させる経営による、持続可能な社会への貢献』を推進致します。

不二製油グループ本社は 1950 年の創業以来、植物性油脂や大豆たん白を主原料とした植物性食品素材により、持続可能な地球と人の健康に貢献する事業を展開して参りました。当社グループの主要原料であるパーム油、カカオ豆、大豆を取り巻く環境には森林破壊や児童労働などの多くの社会的課題が包摂されています。また食品を取り巻く環境では、迫りくる気候危機や人口増加による食の偏在やフードロス、健康・栄養、高齢化、価値観の多様化、エシカル消費等、社会や消費者ニーズの変化に積極的に対応をしていく必要があります。このような社会環境の中、あらゆる課題に真正面から向き合い、当社グループが共有する価値「人のために働く」精神をもって、事業を通じ持続可能な社会を目指す ESG 経営を掲げ、そのソリューションとして植物性素材による社会課題の解決、PBFS（Plant-Based Food Solutions）をグループ一丸となり進めています。

当社グループの消費者庁長官表彰（特別枠）受賞に際しては、大豆素材、油脂等を供給する BtoB 企業のビジネスモデルにおいても、最終ユーザーである消費者の意見を収集する仕組みの構築や、フードテック分野のスタートアップ等との共創により、消費者を見据えている点を主に評価頂きました。

社会環境の変化が大きく、そのスピードが加速する中、当社グループは未来につながる持続可能なあたたかいおいしさを提供することで、社会から必要とされる企業となるために、引き続き事業推進を通じた社会課題の解決を進めて参ります。

不二製油グループ本社株式会社 代表取締役社長 清水洋史のコメント：

「消費者庁長官表彰（特別枠）受賞に際し、日々の取組の成果をご評価頂き誠に嬉しく思います。常に顧客を通じて消費者と向き合っているグループ従業員を誇りに思うと共に、より一層消費者の困りごとに寄り添い、解決することができる、社会から必要とされる企業となる為に責任と自覚をもって、社会、消費者との共創、共生を目指します。」

- 以上 -

不二製油グループ本社株式会社について

不二製油グループは、業務用チョコレート、チョコレート用油脂、植物性油脂、クリーム、マーガリン、チーズ風味素材などの製菓・製パン素材、大豆加工素材などの分野で、植物由来のフードソリューションを提供しています。日本に本社を置き、14カ国に32社、約6000名の人材を擁しています。1950年の創業以来、不二製油は「他社に追随することなく、独自性を活かして新分野を開拓することが生き残り発展への道である」という信念を貫いてきました。南方系油脂を中心に、早くから海外展開を開始しました。同様に、大豆が人の健康と環境に貢献するという信念のもと、半世紀以上にわたり研究とそれらの活用を続けています。

<https://www.fujioilholdings.com/>